

用途：ホテル

ヒートポンプ・蓄熱システム導入事例

浦安ブライトンホテルさま
(千葉県浦安市)



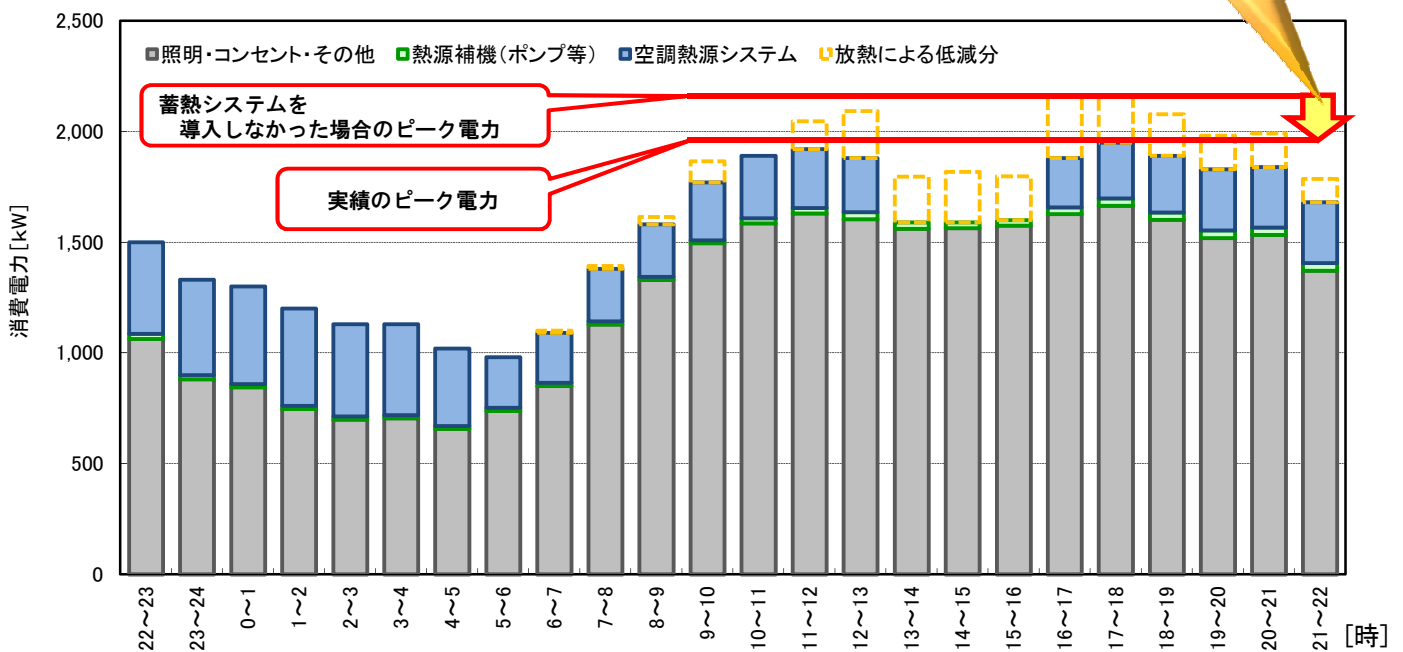
蓄熱システム種別
空調(水蓄熱)

ピーク電力
10% 低減

◆ 延床面積(駐車場除く)	33,070㎡
◆ 階数	地上21階、地下2階

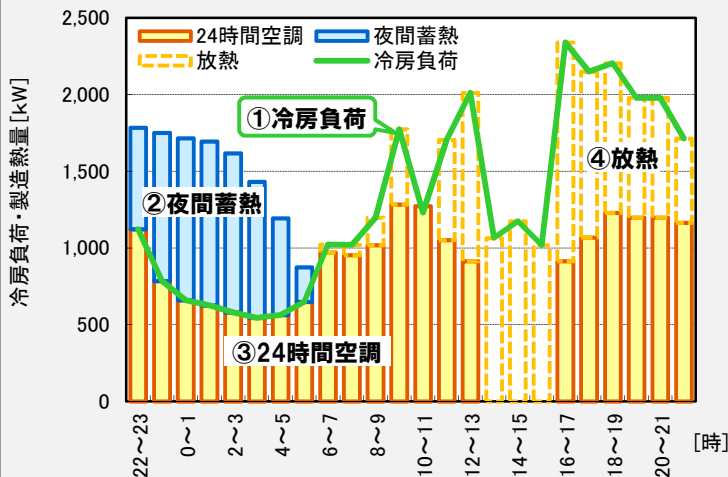
夏期代表日(2011年8月12日[金])の消費電力

夏期昼間ピーク電力の約**10%(209kW)**低減!!



ヒートポンプ・蓄熱システムの運転解説

[2011年8月12日の冷房負荷・製造熱量]



①冷房負荷

施設の時間毎における冷房負荷。
本施設では、24時間冷房している。

②夜間蓄熱

夜間(22時~8時)にターボ冷凍機および熱回収ヒートポンプチラーを運転し、製造した冷熱を水蓄熱槽に蓄熱している。夏期代表日では冷房負荷の約21%の冷熱を水蓄熱槽へ蓄えることができた。

③24時間空調

24時間空調負荷の熱源としてターボ冷凍機を運転させ、熱回収ヒートポンプチラーは蓄熱時間帯のみ運転させる。水蓄熱槽からの放熱で不足する分は、全てターボ冷凍機で賅っている。昼間ピーク電力を抑えるため、左図では13時~16時の間は熱源機を停止している。

④放熱

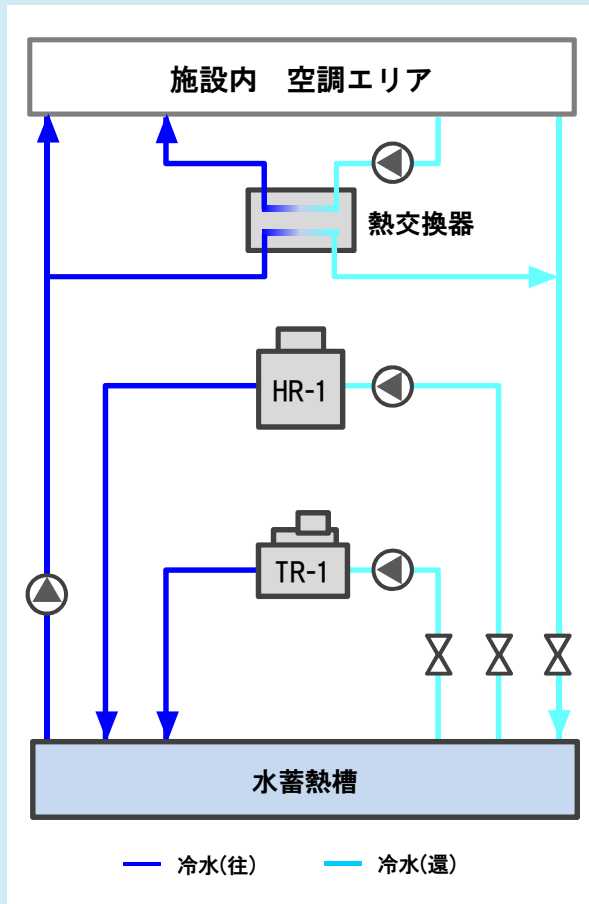
夜間に蓄えた水蓄熱槽の冷熱を放熱することにより、冷房負荷の一部を賅っている。

この放熱量の分だけ、**昼間の消費電力を低減**できている。

浦安ブライトンホテルさま（千葉県浦安市）

▶ 熱源システム概要

[システム図]



本施設では、夜間にターボ冷凍機（TR-1）と熱回収ヒートポンプチラー（HR-1）が稼働して水蓄熱槽に冷熱を蓄熱し、昼間ピーク時間帯には水蓄熱槽に蓄熱された冷熱のみで運転している。これ以外の時間では蓄熱槽に蓄熱された冷熱とターボ冷凍機（TR-1）の追掛運転により冷房を行っている。

また、この蓄熱システム運用により、2011年夏期代表日（8月12[金]）では一日の冷房に必要な熱の約21%を夜間に蓄えることができ、これにより夏期昼間ピーク電力209kW低減を実現している。

[機器一覧表]

機器名称	台数	仕様	
ターボ冷凍機 TR-1	1	冷却能力	1,618 kW
熱回収 ヒートポンプチラー HR-1	1	冷却能力	(冷専時) 337 kW
			(熱回収時) 308 kW
水蓄熱槽	1	槽容量/蓄熱容量	1,500 m ³ / 16,421 kWh

▶ お客さま概要

浦安ブライトンホテルは、「いきいきとした笑顔と心からのサービスでお客様に接し『驚きと感動』を提供し続ける」を理念とし、93年7月に開業致しました。客室数は189室に抑え、寛ぎと快適な空間を提供しています。

20・21階のカップル専用の特別フロア“The Floor PREMIUM DOORS”では、付加価値の高いサービスとコンセプトを持った客室を、ご家族向けには人気の「ルーム・だんらん」や「The Loft」など、バリエーション豊富な客室をご用意しております。

「東京ディズニーリゾート(R)パートナーホテル」としても、宿泊ゲストへの充実したサービスでおもてなしをしております。その他、和・洋・中と全8店舗のホテル直営レストランやリフレッシュクラブ「ジーナス」を運営しております。また、婚礼ではお二人の要望に合わせて作り上げる「オーダーメイドブライダル」を掲げ、お二人にあった結婚式を提案しております。

